

1年生の授業創造プラン(平成29年度)

日野市立平山小学校

	市の方針	1年生の実態と課題	“いのち”との関連	授業創造プラン	実践記録	成果と課題
国語	〇〇 みー ない がの 参 加 し を 感 じ も に い の ち を 出 し 合 い 合 い 新 た な 生 き る よ ろ こ び を あ ふ れ る 明 日 へ	<知識・技能> ○おおむねの児童は、ひらがなを正しく書くことができる。 ●長音、拗音、促音、撥音などの表記や、助詞の正しい使い方が苦手な児童が40%いる。	適切に表現する能力を育て、伝え合う力を高めるとともに、考える力を養う。	<知識・技能> ・スキルアップタイムを活用し、長音、拗音、促音、撥音などが入った言葉聞き取り、表記する練習に取り組む。 ・文章を書く時には、書いた文を読み返す習慣が付くように指導し、友達とも読み合う活動を取り入れる。また、語句の間違いに気付き、正しい使い方ができるよう、注意力を高める。 ・文章力を高めるために、日記を書く宿題を定期的に出す。	<知識・技能>	<知識・技能> ○ ●
		<思考・判断・表現> ○おおむねの児童は、自分の気持ちや考えを表現することができる。 ●自分の気持ちや考えを一方向的に伝える児童が多く、話し合いを通して考えを深めることが難しい。		<思考・判断・表現> ・授業の中で、友達に尋ねたり、応答したりするようなペアやグループ学習を取り入れる。	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現> ○ ●
		<主体的に学習に取り組む態度> ○多くの児童が意欲的に楽しんで授業に取り組む様子が見られる。 ●学習したことから新たな課題を設定し、生活の中で活用していこうとする児童が少ない。		<主体的に学習に取り組む態度> ・児童のつぶやきや発言を大切に授業の展開を行う。 ・児童が発見したことや言葉を使って授業の振り返りを行い、次の授業につなげていく。 ・児童がやってみたいことを取り入れて、単元の目標設定を行う。	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度> ○ ●
算数		<知識・技能> ○おおむねの児童は、10までの数の構成、たし算、ひき算の基礎が定着している。 ●10までの数の構成がスムーズにできない児童が学年の約20%いる。たし算、ひき算の計算がスムーズにできない児童が学年の約10%いる。	筋道を立てて考え、表現する能力とともに、違いを認め受容する態度を育てる。	<知識・技能> ・基礎的な知識、技能が定着していない児童は、ネバギブタイムを使って10までの数の構成やたし算、ひき算の計算練習に取り組ませる。 ・授業では、ブロック、指、絵を描いて具体的な物を数えて考える支援を行う。 ・繰り返し練習することを大切にし、宿題で復習問題も取り入れていく。	<知識・技能>	<知識・技能> ○ ●
		<思考・判断・表現> ○文章問題では、問題が解決できるようになっている。 ●文章の読み取りができず問題解決ができない児童が学年の約30%いる。		<思考・判断・表現> ・文章問題の問題文を、最後まで読み切る習慣を身に付ける。 ・問題文の中で何が出てきたか、何を聞いているのかを細かく分析し、式につながるような問いかけを行う。 ・式で使う数字には印を付けて、視覚的にも分かるように板書を工夫する。	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現> ○ ●
		<主体的に学習に取り組む態度> ○多くの児童が意欲的に楽しんで授業に取り組む様子が見られる。 ●学習したことから新たな課題を設定し、生活の中で活用していこうとする児童が少ない。		<主体的に学習に取り組む態度> ・児童のつぶやきや発言を大切に授業の実践していく。 ・児童が発見したことや言葉を使って、授業の振り返りを行い、次の授業につなげていく。	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度> ○ ●

2年生の授業創造プラン(平成29年度)

日野市立平山小学校

	市の方針	2年生の実態と課題	“いのち”との関連	授業創造プラン	実践記録	成果と課題
国語	〇〇 「みー ない がの 参 加」 しを 感じ 「いの ち」 を出 しを 伝え 合 い 新 たな 創造 へ よ ろこ びを あ ふ れる 明日 へ	<知識・技能> ○音読や漢字練習など意欲的に取り組み、概ねの児童は学習した漢字が定着している。 ●日常の中で助詞を正しく使ったり、カタカナを用いた文章を書くことができない児童が多い。	適切に表現する能力を育て、 伝え合う力を高めるとともに、 考える力を養う。	<知識・技能> ・文を書く時間を毎日取り入れ、カタカナで書く言葉や促音や撥音などを気を付けながら書くように意識させる。	<知識・技能> ○ ●	
		<思考・判断・表現> ○自分の言葉でや登場人物の気持ちや場面の様子をノートやプリントに書くことができる。 ●逐次読みになり、自分の考えを書いて表現することを苦手と感じる児童も多い。		<思考・判断・表現> ・授業の中で、挿絵を活用したり、ペアやグループ学習を取り入れたりして、小グループでの活動を増やす。	<思考・判断・表現> ○ ●	
		<主体的に学習に取り組む態度> ○授業だけでなく漢字テストなど、学習に意欲的に取り組む児童が多い。 ●言葉さがしなどは意欲的に取り組むが、読解力や想像を膨らました読み方の学習では、発言したりすることに苦手意識をもつ児童もいる。		<主体的に学習に取り組む態度> ・読み取りや想像を広げて読む際には、小グループでの学習やペア学習に取り組む、学級全体で話し合いの時間を設定する。	<主体的に学習に取り組む態度> ○ ●	
算数		<知識・技能> ○計算問題を得意とする児童が多い ●量や測定の学習が定着していない児童が3分の1くらいいる。計算練習においては、繰り上がり繰り下りの計算ミスをする児童が多い。	筋道を立てて考え、表現する能力とともに、違いを認め受容する態度を育てる。	<知識・技能> ・できない児童は、ネバギブタイムを使って10までの数の構成やたし算、ひき算の計算練習に取り組ませていく。 ・反復学習を大切にし、宿題で1年の学習内容などの復習問題も取り入れていく。	<知識・技能> ○ ●	
		<思考・判断・表現> ○既習事項を活用して、問題を解決したり演算決定したいする児童が多い。 ●図や言葉を用いて説明したり、既習事項を活用して問題を解いたりできる児童は、30%である。		<思考・判断・表現> ・ホワイトボードを活用して考えを共有する時間を設ける。また、ペア学習を取り入れて、自分なりの考えや似たような考え方を見付ける活動時間を設ける。	<思考・判断・表現> ○ ●	
		<主体的に学習に取り組む態度> ○活動のある学習や計算問題などは、意欲的に発表する児童が多い。 ●思考力を問う問題では、既習事項を活用して率先して考えを出す児童があまりいない。		<主体的に学習に取り組む態度> ・ペア学習や小グループで発表する機会を増やし、自分の考え方をもちとする授業を行う。 ・単元の導入時には既習事項を復習する時間を設けたり、意識付けたりする時間をもつ。	<主体的に学習に取り組む態度> ○ ●	

3年生の授業創造プラン(平成29年度)

日野市立平山小学校

	市の方針	3年生の実態と課題	“いのち”との関連	授業創造プラン	実践記録	成果と課題
国語	〇〇 みー ない が ち ー を 感 じ も ー に 知 恵 の ち ー を 出 し 合 い 合 い 新 た な 生 き る よ う こ び を あ ふ れ る 明 日 へ	<知識・技能> ○書字を丁寧に書くという意識をもっている児童が多い。 ●新出漢字を日常で活用する児童が少ない。	適切に表現する能力を育て、 伝え合う力を高めるとともに、 考える力を養う。	<知識・技能> ・漢字学習時には、例文や熟語で漢字を活用した例を提示する。国語辞典や漢字辞典を調べる活動で語彙を増やす機会を設ける。	<知識・技能> ○ ●	
		<思考・判断・表現> ○自分の考えたことや感じたことを文章で表現することができる児童が増えてきた。 ●文章構成を意識して作文できる児童が少ない。		<思考・判断・表現> ・短い文章や日記活動を通して、作文を書く機会を定期的に設ける。 ・書いた文章が相手に伝わるか推敲したり、手本を提示し、日頃から豊富な文章表現に触れていけるよう指導を工夫する。	<思考・判断・表現> ○ ●	
		<主体的に学習に取り組む態度> ○文章読解をする際、登場人物の心情や物語の背景を叙述に沿って読み取ることができる児童が全体の50％程度いる。 ●読解や音読等の時間になると、友達の意見をノートに書き写すだけにとどまる児童が全体の20％程度いる。		<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアや少人数グループ等の話し合い活動を通して、他者の考えを知る機会を作り、新たな読みの捉え方を身に付ける手立てとする。	<主体的に学習に取り組む態度> ○ ●	
社会	新 た な 生 き る よ う こ び を あ ふ れ る 明 日 へ	<知識・技能> ○地図記号や地図について積極的に調べたり、発表したりする児童が多くなってきた。 ●地図上から、実際の地形と比べられる児童が少ない。	民主的・平和的な国家・社会の 形成者として必要な公民的資 質を養う。	<知識・技能> ・地図記号の学習では、カードゲームを取り入れるなどして、様々な記号があることに気付かせ、身に付けさせていく。	<知識・技能> ○ ●	
		<思考・判断・表現> ○自分たちが住んでいる日野市の特徴について、理解できるようになった。 ●地図から地形の様子を読み取ることができない児童は約20％である。		<思考・判断・表現> ・屋上や校外学習で見付けたことを整理し、地図と結び付けて考えることができるようにする。 ・具体物などを使い、地形そのものの理解の定着を図る。	<思考・判断・表現> ○ ●	
		<主体的に学習に取り組む態度> ○自分の調べたことや意見を積極的に発表することができる。		<主体的に学習に取り組む態度> ・今の意欲を継続させていくために、「学校のまわり」「日野市の様子」の学習で、記録したことを共有する中で、それぞれの場所の特徴を考えさせ発表させる活動を取り入れる。	<主体的に学習に取り組む態度> ○ ●	
算数	新 た な 生 き る よ う こ び を あ ふ れ る 明 日 へ	<知識・技能> ○かけ算は定着している児童が多い。 ●繰り下がりが連続しているひき算、あまりのあるわり算で、計算過程のミスが多い。	筋道を立てて考え、表現する能 力とともに、違いを認め受容す る態度を育てる。	<知識・技能> ・計算の手順を順序をしっかりと意識してとき、間違えてしまった際は、どこに戻って計算をし直すときよいか振り返り活動を取り入れる。	<知識・技能> ○ ●	
		<思考・判断・表現> ○一斉授業の中で、学年の40％の児童が問題の見方を多方面から捉え、考え方を発表し合うことができる。 ●問題構造が複雑な文章問題になると、解決の見通しが立たず、自力解決につながらない児童が30％程度いる。		<思考・判断・表現> ・問題解決のための見通しをもたせ、図式化などの表現を通し、解決につなげていくようにする。 ・他者の考えを聞き、考え方の多様性に触れる時間を設ける。	<思考・判断・表現> ○ ●	
		<主体的に学習に取り組む態度> ○自分の意見や考え方を積極的に発表する児童が多い。 ○ノートに自分の考えを分かりやすく記録する児童が多い。 ●一部、基礎学力に課題があり、集中力が継続できない児童がいる。		<主体的に学習に取り組む態度> ・発表場面・ノート記録に意欲を高くもって取り組む姿勢があるので、どちらか片方に偏ることのないように、発表する時間、考えを深める時間、と授業展開にめりはりを果たせる工夫をする。	<主体的に学習に取り組む態度> ○ ●	
理科	新 た な 生 き る よ う こ び を あ ふ れ る 明 日 へ	<知識・技能> ○日常生活体験や生活科の知識を生かしている姿が見られる。 ●その一方、興味や生活体験による差が大きい。	科学的な見方や考え方を養 い、自然を愛する心情を育て る。	<知識・技能> ・単なる知識・技能を伝えるのではなく、体験を通した活動を通し、知識・技能を身に付けさせる授業を展開していく。	<知識・技能> ○ ●	
		<思考・判断・表現> ○自分が立てた予想の根拠や観察・実験結果から考えたことなどを多くの児童が自分の言葉で表現することができる。 ●思考したことを表現できない児童が数名いる。		<思考・判断・表現> ・予想や考察をノートなどにしっかり表現し、練り上げていく活動を多く取り入れていく。	<思考・判断・表現> ○ ●	
		<主体的に学習に取り組む態度> ○おおむねの児童が意欲的に問題解決に取り組んでいる。 ●物の扱い方が雑であったり、粗末であったりする傾向にある。		<主体的に学習に取り組む態度> ・児童の知的好奇心を刺激するように教材研究を行う。 ・学習道具の使用に関する事前指導と丁寧に行っていく。	<主体的に学習に取り組む態度> ○ ●	

4年生の授業創造プラン(平成29年度)

日野市立平山小学校

市の方針		4年生の実態と課題	“いのち”との関連	授業創造プラン	実践記録	成果と課題
国語	〇〇 みー ない の 参 ち ー を 感 じ ー い の ち を 出 し 合 い 新 た な 創 造 へ 生 き る よ う こ び を あ ふ れ る 明 日 へ	<知識・技能> ○新出漢字学習に対する意欲が高く、漢字テストに向けて積極的に練習をする児童が多い。 ●既習の漢字の定着や語彙的に個人差があり、文章の中で正しく使える児童が少ない。 ●言語のきまり(主語・述語・修飾語、指示語など)の正しい理解に課題がある児童が多い。	適切に表現する能力を育て、伝え合う力を高めるとともに、考える力を養う。	<知識・技能> ・文章中に出てきた漢字や新出漢字の練習の際に、国語辞典を活用して意味調べや言葉集めをする習慣を付け、語彙を増やしていく。 ・授業ノートや週2回の日記の文章の中で積極的に漢字を使う児童を認めて褒め、全体に広げよう指導する。 ・スキルアップタイムにて、継続的に「言葉の学習プリント」に取り組んで定着を図る。	<知識・技能> ○文章中に出てきた漢字や新出漢字の練習の際に、国語辞典を活用して意味調べや言葉集めをする習慣を付け、語彙を増やしていく。 ・授業ノートや週2回の日記の文章の中で積極的に漢字を使う児童を認めて褒め、全体に広げよう指導する。 ・スキルアップタイムにて、継続的に「言葉の学習プリント」に取り組んで定着を図る。	<知識・技能> ○
		<思考・判断・表現> ○本文にサイドラインを引くなどして、叙述をもとに自分の考えをもてるようになってきた。 ●文章を書くことに対して苦手意識をもっている児童とそうでない児童の差が大きい。伝えたいことを意識して書いたり、構成を考えながら段落を分けて文章を書いたりすることが苦手な児童が半数いる。 ●人前で自分の考えを発表することが苦手な児童がいる。		<思考・判断・表現> ・相手や場面に応じて文章を書く時間を多く設定し、書くことへの抵抗をなくす。疑問に思ったことを調べて報告する文章を書いたり、新聞やポスター等を書いたりする活動に取り組む。 ・句読点の適切な打ち方、段落の分け方等をその都度丁寧に指導する。 ・朝の会で、テーマを設定した1分間スピーチを行う。	<思考・判断・表現> ○	<思考・判断・表現> ○
		<主体的に学習に取り組む態度> ○ほとんどの児童が読書を好み、積極的に読み物に触れている。 ○登場人物の心情の読み取りなどでは、想像力を豊かに働かせて考えることができる児童が多い。 ●説明文の読み取りなど、長文の読み物に触れることに抵抗を示す児童は約30%である。		<主体的に学習に取り組む態度> ・相手や場面に応じて文章を書く時間を多く設定し、書くことへの抵抗をなくす。疑問に思ったことを調べて報告する文章を書いたり、新聞やポスター等を書いたりする活動に取り組む。 ・句読点の適切な打ち方、段落の分け方等をその都度丁寧に指導する。 ・朝の会で、テーマを設定した1分間スピーチを行う。	<主体的に学習に取り組む態度> ○	<主体的に学習に取り組む態度> ○
社会	〇〇 みー ない の 参 ち ー を 感 じ ー い の ち を 出 し 合 い 新 た な 創 造 へ 生 き る よ う こ び を あ ふ れ る 明 日 へ	<知識・技能> ○グラフから分かる傾向や変化を読み取ることができる児童が増えた。 ●市や町、村の土地の様子などを、地図やグラフ等の資料から正確に情報を読み取ることが苦手な児童が20%ほどいる。 ●地図記号を正確に理解している児童が少ない。	民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質を養う。	<知識・技能> ・グラフの読み取り方について、算数の学習とも関連付けながら丁寧に指導する。 ・資料から分かったことや考えたことを、自分の言葉でノートに書かせる時間を毎時間確保する。 ・地図帳を日常的に活用し、社会的事象についての知識を身に付けられるようにする。地図記号・都道府県クイズなどを継続的にやり定着を図る。	<知識・技能> ○	<知識・技能> ○
		<思考・判断・表現> ○資料から、働く人々の工夫や努力についてノートに書いたり発表したりする児童が増えた。 ●資料から情報を読み取る力は付いてきたが、他の情報と関係付けて考えたり、そこから自分の考えを深めたりするまでには至らない児童が多い。 ●自分の課題に対して、どの資料で調べるのが適しているのかを考えたり、分かったことを整理してまとめることができる児童が少ない。		<思考・判断・表現> ・資料から分かったことや考えたことを、自分の言葉でノートに書かせる時間を毎時間確保し、ペアやグループでの意見交換を行う。 ・自分の設定した課題について、学習した内容を踏まえて調べたことをポスターや新聞などにまとめる活動を行う。	<思考・判断・表現> ○	<思考・判断・表現> ○
		<主体的に学習に取り組む態度> ○自分の生活経験と関係付けて課題を調べたり、自分が発見したことや調べたことを積極的に発表する児童が増えた。 ●自分の考えをノートに書くことはできるが、それを自分から発表するまでに至らない児童は約30%である。		<主体的に学習に取り組む態度> ・自分の考えを伝える時間を毎時間確保する。 ・発表させる前に個別のノートを確認する。自分の考えを書いている児童を褒めて自信をもたせ、発表につながるようにする。	<主体的に学習に取り組む態度> ○	<主体的に学習に取り組む態度> ○
算数	〇〇 みー ない の 参 ち ー を 感 じ ー い の ち を 出 し 合 い 新 た な 創 造 へ 生 き る よ う こ び を あ ふ れ る 明 日 へ	<知識・技能> ○半数以上の児童は、これまでの既習事項が定着している。 ●乗法 2(3)位数×1位数、あまりのある除法、小数や分数の表し方・しくみ、大小関係の理解、かんたんな分数の計算などが定着していない児童は各学級で約30%である。	筋道を立てて考え、表現する能力とともに、違いを認め受容する態度を育てる。	<知識・技能> ・習熟度別指導で、児童の理解に応じて様々な問題に取り組む時間を作る。 ・スキルアップタイム、ネバギブタイムにて、継続的な反復練習を行い、定着を図る。インタラクティブスタディを計画的に活用する。	<知識・技能> ○	<知識・技能> ○
		<思考・判断・表現> ○自分の考えを言葉・図・数直線・数式を用いてノートに整理して書く力が付いてきた。自分の考えを友達に説明することができるようになってきた。 ●既習の知識・技能が未定着のため、自分の考えをもったり、深めたりすることができない児童は各学級で約30%である。		<思考・判断・表現> ・問題解決型学習の流れを授業の中で徹底し、自力解決の活動の中で算数的活動の時間を十分に確保する。 ・スキルアップタイム、ネバギブタイムを活用し、既習事項の振り返りや計算技能の向上を目指す。 ・各単元の授業で既習事項の振り返りをし、関連する単元とのつながりをもって学習に取り組めるようにする。	<思考・判断・表現> ○	<思考・判断・表現> ○
		<主体的に学習に取り組む態度> ○意欲的に問題解決に取り組む様子が見られ、複数の解決方法を考えられる児童が少しずつ増えてきた。 ●算数に対する苦手意識をもつ児童が非常に多い。		<主体的に学習に取り組む態度> ・自分の考えをノートに書く場面では、どこでつまづいているのか課題を把握する。まら、スキルアップタイム、ネバギブタイムを活用して個別学習に取り組む。苦手を克服して自信をもたせる。	<主体的に学習に取り組む態度> ○	<主体的に学習に取り組む態度> ○
理科	〇〇 みー ない の 参 ち ー を 感 じ ー い の ち を 出 し 合 い 新 た な 創 造 へ 生 き る よ う こ び を あ ふ れ る 明 日 へ	<知識・技能> ○昆虫や植物など児童にとって身近な理科的事象については理解力が高い。 ●観察・実験結果を文や図・絵で整理して分かりやすく書くことを苦手とする児童がいる。	科学的な見方や考え方を養い、自然を愛する心情を育てる。	<知識・技能> ・観察や実験を通して何を解決するのかを常に意識させる。観察の視点をいくつか示して書かせるようにする。 ・問題に対しての結果(事実)と、自分の考えを区別して書かせる。	<知識・技能> ○	<知識・技能> ○
		<思考・判断・表現> ○提示された課題に対して、自分なりに実験結果の予想を立てられる児童が増えてきた。 ●既習事項や生活経験をもとに根拠のある予想を発想することや、考察の場面で、自分の考えを言葉で表現することが苦手な児童がいる。 ●どのような実験をすれば問題が解決できるか、見通しをもてる児童がまだ少ない。		<思考・判断・表現> ・問題⇒予想⇒方法⇒結果の見通し⇒実験結果⇒考察⇒結論という問題解決学習の流れを徹底し、科学的な見方や考え方を養えるようにする。 ・予想を立てる場面と考察を行う場面ではペアやグループでの話し合い活動を積極的に取り入れ、帰納的な観点から結果を考察する力を高めていく。	<思考・判断・表現> ○	<思考・判断・表現> ○
		<主体的に学習に取り組む態度> ○理科が好きな児童が多く全体的に実験や観察に対する意欲が高い。 ●自分の考えを友達に説明する場面において、自信をもって積極的に意見を交差する児童がまだ少ない。		<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアやグループの中で自分の考えを伝える場面を設定する。 ・発表させる前に個別のノートを確認する。自分の考えを書いている児童を褒めて自信をもたせ、発表につながるようにする。	<主体的に学習に取り組む態度> ○	<主体的に学習に取り組む態度> ○

5年生の授業創造プラン(平成29年度)

日野市立平山小学校

	市の方針	5年生の実態と課題	“いのち”との関連	授業創造プラン	実践記録	成果と課題
国語	〇〇 「みないがのちを感知し、いのちの恵みを出し合い、新たな創造へよこびをあふれる明日へ」	<知識・技能> ●習った新出漢字を文章の中で使うことができない児童が多い。 ●語彙が少なく、話や文章で使える語彙が少ない。	適切に表現する能力を育て、伝え合う力を高めるとともに、考える力を養う。	<知識・技能> ・新出漢字の学習の際には、言葉集めをしたり、用例を自分で考えたりするなどして、どのような場面でその漢字が使われるのかを知ることができるようにする。 ・文章中で出てきた漢字や新出漢字の練習の際に、類義語・対義語などを取り上げ、語彙が増えるようにしていく。	<知識・技能>	<知識・技能> ○●
		<思考・判断・表現> ●文章を書く際に、段落分けて書くなど、文章の構成を考えて書いたりすることに課題がある。		<思考・判断・表現> ・文章を書く際には、「はじめ・なか・おわり」のまとまりで構成を考えたり、付箋で内容を整理したりして、文章の構成を考えて書くことができるようにしていく。	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現> ○●
		<主体的に学習に取り組む態度> ○意味が分からない言葉の意味を自ら国語辞典で調べようとする児童が多い。 ●長文を読んだり、書いたりすることに抵抗感を示す児童が多い。		<主体的に学習に取り組む態度> ・文章を読んだり、書いたりすることへの抵抗感を減らすために、まとまりごとに分けて学習を進めていくようにする。 ・教科書の本文にサイドラインを引いたり、印を付けたりしながら読み進め、注目すべき点を明確にし、内容の中心を捉えることができるようにしていく。	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度> ○●
社会	〇〇 「みないがのちを感知し、いのちの恵みを出し合い、新たな創造へよこびをあふれる明日へ」	<知識・技能> ○地図帳や地球儀を積極的に使い、様々な地域について調べようとする意欲が高い。 ●都道府県名や、各地域の特徴など、基本的な既習の知識が定着していない児童が多い。	民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質を養う。	<知識・技能> ・資料の読み取りを行う際には、資料のどの部分に着目すれば必要な情報が得られそうかを確認し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。	<知識・技能>	<知識・技能> ○●
		<思考・判断・表現> ○資料を見てこれまでの既習事項を基に読み取ったり、想像力を働かせて自分の考えをもつことができる。 ●自分の考えを書くことのできる児童と、できない児童の差が大きい。 ●我が国の産業や環境、発展に関わる人々の工夫や努力から、人々の思いや願いを読み取ることが苦手である。		<思考・判断・表現> ・グラフや写真等の資料を提示し、その資料から読み取れること、考えられることを自分の言葉で書く時間を毎時間確保する。 ・教科書などに掲載されている関係者の言葉を学習内容に関連付けることで、人々の思いや願いによって発展していく様子を読み取れるようにする。	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現> ○●
		<主体的に学習に取り組む態度> ●社会事象や我が国の発展を支えるものについて、自ら疑問をもち、調べようとする児童が少ない。		<主体的に学習に取り組む態度> ・児童が主体となって学習の問いを見だし、それをもとに学習計画や調べ方を考える機会を単元ごとに設ける。	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度> ○●
算数	〇〇 「みないがのちを感知し、いのちの恵みを出し合い、新たな創造へよこびをあふれる明日へ」	<知識・技能> ○おおむねの児童は、これまでの既習事項が定着している。 ●わり算の筆算がスムーズにできない児童は学年の約20%である。	筋道を立てて考え、表現する能力とともに、違いを認め受容する態度を育てる。	<知識・技能> ・スキルアップタイム、ネバギブタイムを活用し、既習事項の振り返りや計算の技能の向上を目指す。 ・各単元の授業で既習事項の復習をし、関連する単元とのつながりをもって学習に取り組めるようにする。	<知識・技能>	<知識・技能> ○●
		<思考・判断・表現> ●問題文の題意を正しく読み取り、演算決定することに課題がある。		<思考・判断・表現> ・問題文を声に出して読んだり、数量関係を数直線などに表したりして、題意を正確にとらえ、立式できるようにする。	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現> ○●
		<主体的に学習に取り組む態度> ○女子を中心に意欲的に問題解決に取り組む様子が見られる。 ●問題解決において、一つの方法に偏らず多様な方法を考えたり、よりよい方法を考えたりしていこうとする児童が少ない。		<主体的に学習に取り組む態度> ・自力解決の前に、解決の方法の見通しをもたせるようにする。 ・考えを発表し合う際には、既習事項をどのように生かしたのかやその方法のよさを考える場面を設定し、よりよい方法を考えるきっかけとする。	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度> ○●
理科	〇〇 「みないがのちを感知し、いのちの恵みを出し合い、新たな創造へよこびをあふれる明日へ」	<知識・技能> ○アルコールランプ、顕微鏡などの実験器具の使い方を正しく理解しており、使うことができる。	科学的な見方や考え方を養い、自然を愛する心情を育てる。	<知識・技能> ・現在の状況を維持し、さらに生きて働く知識技能になるよう、日常生活体験と重ね合わせた指導をする。	<知識・技能>	<知識・技能> ○●
		<思考・判断・表現> ○自分が立てた予想や実験結果から考えたことなどをほとんどの児童が自分の言葉で表現することができる。 ●予想や考察など、なぜそのように考えたのかの根拠を明確に表現することのできない児童が多い。 ●実験条件を整えることの必要性は理解しているが、どのような検証をすればよいか、解決の方法を発想することに課題がある。		<思考・判断・表現> ・既習事項や生活経験を振り返りながら学習問題を設定し、予想や考察につなげることができるようにする。 ・実験条件を表に整理したり、実験結果の見通しを立てることにより、実験条件の違いを視覚的に分かりやすくし、見通しをもって実験に取り組むことができるようにする。	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現> ○●
		<主体的に学習に取り組む態度> ○ほとんどの児童が意欲的に問題解決に取り組んでいる。 ●学習したことを実際の自然現象や日常生活などに適用していこうとする児童が少ない。		<主体的に学習に取り組む態度> ・問題解決の過程を通して、身の回りの事象や日常生活との関連を考える場面を設定し、科学的に考えることの面白さや日常生活とのつながりを意識することができるようにする。	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度> ○●

6年生の授業創造プラン(平成29年度)

日野市立平山小学校

	市の方針	6年生の実態と課題	“いのち”との関連	授業創造プラン	実践記録	成果と課題
国語	〇〇「みないがのちーを感じー」に知恵を出し合い、新たな創造へ	<知識・技能> 〇話し合いは意欲的に取り組むことができる。 ●漢字、原稿用紙の使い方、文章構成をすること、正しく読み取ることが難しい。	適切に表現する能力を育て、伝え合う力を高めるとともに、考える力を養う。	<知識・技能> ・宿題や小テストを継続していく。 ・原稿用紙に文章を書く機会を週1回以上行う。	<知識・技能>	<知識・技能> 〇 ●
		<思考・判断・表現> 〇何を話すか(目的や意図)を考え、話題からそれずに話し合うことができる。 ●自分の考えをもつことはできるが、文として表現することが難しい。		<思考・判断・表現> ・物語文、説明文の初発の感想を書く際、また意見文を書く際など、伝えたいことを(事実と意見を区別したうえで)箇条書きにし、文章にする練習をする。	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現> 〇 ●
		<主体的に学習に取り組む態度> 〇興味のある題材については、積極的に取り組むことができる。 ●苦手なことや、興味の無い題材については、受け身である。		<主体的に学習に取り組む態度> ・その題材に関連する資料を提示し、興味をもたせるようにする。	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度> 〇 ●
社会	〇〇「みないがのちーを感じー」に知恵を出し合い、新たな創造へ	<知識・技能> 〇資料から必要な情報を読み取ることができる。 ●一つ一つの知識がつかない。	民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質を養う。	<知識・技能> ・授業の始めに前時の振り返りを行い、必要に応じて、既習の歴史的事象も取り上げる。	<知識・技能>	<知識・技能> 〇 ●
		<思考・判断・表現> 〇課題、歴史的事象に対しての簡単な自分の考えをもつことができる。 ●課題、歴史的事象に対して自分なりに新しい考えを見いだすことが難しい。		<思考・判断・表現> ・資料の読み取りをする際や、毎時間の最後の振り返りの場面で、歴史的事象を見る視点を発問によって与える。	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現> 〇 ●
		<主体的に学習に取り組む態度> 〇積極的に歴史的事象について教科書や資料集を使って調べ学習を行っている。		<主体的に学習に取り組む態度> ・毎時間、課題解決の時間(調べ学習)の時間を確実に確保し、今の姿勢を継続させていく。	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度> 〇 ●
算数	〇〇「みないがのちーを感じー」に知恵を出し合い、新たな創造へ	<知識・技能> ●6年生までに定着すべき計算技能が未定着な児童は約60%である。	筋道を立てて考え、表現する能力とともに、違いを認め受容する態度を育てる。	<知識・技能> ・宿題、ネバギブタイムで、下学年の計算、文章問題を繰り返し解かせていく。	<知識・技能>	<知識・技能> 〇 ●
		<思考・判断・表現> ●既習事項を生かして課題解決することが難しい。		<思考・判断・表現> ・問題解決型の学習では、解決の見通しをもたせる際、関連する既習事項を振り返りや解決の手段を話し合い、授業の終わりには、そのことが生かされていたかを振り返る時間を設ける。	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現> 〇 ●
		<主体的に学習に取り組む態度> ●粘り強く取り組むことができない。		<主体的に学習に取り組む態度> ・実態に合ったスモールステップを用意し、“わかる、できる”実感をもたせるようにする。	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度> 〇 ●
理科	〇〇「みないがのちーを感じー」に知恵を出し合い、新たな創造へ	<知識・技能> 〇実験器具の取り扱いをスムーズにできる。 ●実験に消極的な児童は、技能が定着していない。	科学的な見方や考え方を養い、自然を愛する心情を育てる。	<知識・技能> ・一人で行う実験回数を増やすようにする。	<知識・技能>	<知識・技能> 〇 ●
		<思考・判断・表現> 〇問題解決する方法(実験計画)を考えることができる。 ●実験結果を、記録する際に考察と混ざってしまう。 ●考察を書く視点をもつことができない。		<思考・判断・表現> ・実験結果だけでなく、その過程に注目させることで考察を書く視点が増えるようにする。	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現> 〇 ●
		<主体的に学習に取り組む態度> 〇実験、観察に対して意欲的に取り組むことができる。 ●実験の際、ペアの児童に頼ってしまう児童がいる。		<主体的に学習に取り組む態度> ・一人で行う実験回数を増やすようにする。 ・ペアで実験をする際、取り組む内容を分担し、活動量を同等にするよう配慮する。	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度> 〇 ●